

事務事業評価票 [市単独補助金]

平成 27 年度

		担当課	農林水産課				
基本事項	補助金(事業)名	畜産環境衛生保全事業費補助金			整理番号	1448	
	根拠法令等	島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱 畜産環境保全事業の実施要領		実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる	予算目	6 款 1 項 4 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		節 第1節 農林業の振興	区分	奨励・助成			
事業概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原市畜産環境衛生保全推進協議会			実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 31 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	混住化社会の進展等により、畜舎周辺の宅地開発が進むと同時に家畜の飼育に起因した悪臭・衛生害虫が発生し、周辺住民より市及び畜産農家への苦情が多発し、畜産経営の維持継続に影響をきたしていることから、畜産環境衛生保全に必要な薬剤の購入補助を行い、畜産経営の維持継続を図る。 また、本市の西部には畜舎が集中しており、伝染病が発生した場合は波及的な感染により、甚大な被害が予想されるため、常に衛生的な環境を保つことが重要とされる。					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病発生の未然防止及び蔓延防止を図る。 ・悪臭や衛生害虫発生の未然防止に努める。 ・市民が快適な環境下で生活を送るため、畜産農家の衛生保全を推進する。 					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費の1/3以内 薬剤費：21,697,409円 (1/3=7,232,470円) に対し、6,888,000円の購入補助 (事業費内訳) (畜種別) ①殺虫剤：11,984,265円 鶏：9,135,432円 (23戸) ②殺菌剤：6,028,236円 牛：5,574,161円 (36戸) ③消臭剤：3,684,908円 豚：6,987,816円 (12戸) 					
事業費等の推移	年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		7,310	5,464	6,326	7,310	6,888
	① 団体等事業費(千円)		7,310	5,464	6,326	7,310	6,888
	② 歳入内訳(千円)	会費等					
		前年度繰越金					
		市補助金	7,310	5,464	6,326	7,310	6,888
その他の助成金							
その他雑収入							
次年度繰越金(②-①)		0	0	0	0	-	
26年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項 目			金額	項 目			金額
薬剤購入費			7,310				
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	万が一、法的伝染病が発生した場合、風評被害等も含め多大な被害が予想され、未然に防ぐためには、常に家畜や畜舎を衛生的に保つことが重要であり、実際に事業の目的である、畜産経営の維持継続と畜産環境の保全につながっている。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	自助努力が最も重要であるが、畜舎周辺住民への環境に対する影響を考えると公益性の観点から、市の関与も必要と考えられる。
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	農家には補助金としてでなく、直接薬剤が渡されるため、事業目的の達成には有効な手段であると考えられる。

○総合評価と今後の方向性		
総 合 評 価	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的な方向性 <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
	判 定 理 由	畜舎周辺の混住化および環境問題への関心が近年高くなっており、公益性の観点から畜産業に対する支援は必要であり、畜産業の経営継続を図るための施策として今後も継続していくことが必要である。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題 見 直 し の 方 向 性 の	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
<input checked="" type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input type="checkbox"/> 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 △ 688 千円	
備 考	